

# 令和元年度 学校評価(自己評価)

ねらい: 豊かな人間性の涵養と学力の伸長を基軸として、生徒一人一人の進路実現を支援する。

	年度努力目標	取り組み内容	担当	具体策、スケジュール等	取り組み結果報告	4段階評価
信頼される学校づくり	効果的な情報発信	1 学校HPや学年通信等を通して学校情報を発信する	総務 広報 学年	①学校HPの内容の充実を図るとともに、定期的に新着情報を更新することにより情報を発信する。 ②学年通信、保護者会、面談の機会を通して情報を発信する。	・1年 クリーン作戦・校外学習などHPで情報提供する。学年通信の定期的発行、2度の保護者会、担任による三者面談を行う。 ・2年 定期的に学年通信を発行、修学旅行ではブログで随時発信した。保護者会(5月)三者面談(夏季休業中) その他、面談を随時行った。 ・3年 定期的に学年通信の発行。保護者会(5月、7月)、三者面談(夏季休業中、および随時)、その他面談を随時行った。 ・総務 ブログで学校行事や授業の様子、部活動について写真や記事を掲載した。	3.6
		2 携帯メールによる緊急連絡システムの活用を推進する	学年 管理職	①生徒の家庭におけるネット環境を確認の上、ラインネットの登録率をさらに高めるとともに、必要に応じて緊急情報の発信を行う。	積極的にPTA情報、学校情報を提供した。 ・1年 保護者に対し、携帯メールの登録を依頼し、未登録家庭への登録を再度依頼した。 ・2年 登録への呼びかけを行った。 ・3年 登録への呼びかけを行った。	3.7
	危機管理体制の確立	3 危機管理体制を確立する	総務 保健 管理職	①各担当ごとに規程集の内容を検討し、必要に応じて改善を図る。 ②事前事後指導を含めた防災訓練を実施する。 ③危機管理に関する職員研修を実施する。 ④1年生全員に救急法講習会を実施する。	①②③計画通り実施した。 ・防災避難訓練(全校生徒、職員対象7/18)実施した。 ・AED心肺蘇生法研修会(1年生対象、教職員対象12/16)を行った。	3.6
		4 施設設備の適切な管理・活用を行う	総務 教務 事務 管理職	①校舎内外の危険箇所を予測し、適切な管理や補修を行う。 ②ICT・視聴覚機器の管理の一元化とさらなる活用を図るため、使用法を含め職員研修を実施する。 ③効果的な情報管理のため校内LANの整備・活用を図る。	①事務と連携し随時実施した。(予算の範囲内で実施) ②ICT・視聴覚機器を利用した教員の研究公開授業を実施した。 ③指導要録の電子化を進めている。	3.4
		5 地域とのさらなる連携を図る	生指	①生徒指導協議会、青少年育成協議会等に積極的に参加し、情報を共有する。 ②県立学校で考える県政150周年記念事業に参加する。	・西区生徒指導協議会に参加して情報交換を行った。 ・学園太山寺子どもフォーラムに生徒会が参加。(2/1) ・県政150周年記念事業の一環で、各種ボランティア等に生徒会が参加した。	3.6
	地域家庭関係諸機関との連携	6 家庭とのさらなる連携を図る	学年 総務	①学年保護者会、PTAとの学年委員会を通じて連携を図る。 ②きめ細かな家庭連絡を行う。 ③三者面談等を通して家庭との連携を図る。	①保護者会を実施した。 ・1年 PTA学年委員会と懇談し生徒現状・保護者要望・これから学年を進歩発展させるための課題を話し合った。夏休みに担任による三者面談を行った。 ・2年 保護者会(5/24)、PTA学年委員会との懇談(11/22)、夏季休業中には三者面談を実施した。 ・3年 保護者会(5、7月)、PTA学年委員方との懇談(11/22)、夏季休業中と12・1月に三者面談の実施、また家庭との連絡は随時密に行った。	3.7
		7 関係諸機関(中学校・近隣大学等)とのさらなる連携を図る	進路 総務 生指 学年 管理職	①地域、関係機関、近隣大学への訪問等を行うとともに、学校評議員会やPTAの会議の場で学校情報を発信する。 ②生徒に関する情報収集や中学校への進路説明会、近隣大学等との連携を積極的に進める。 ③ユニティ講座の受講を推進し、単位を認定する。	①計画通り実施した。 ・1年 入学前の中学校訪問で、新入生の中学時代の様子を聞く。入学後も適宜事情を聞いた。 ・2年 保護者会を実施した。大学模擬授業実施(7/17)、就労体験授業(12/15) ・3年 保護者会(進路説明)5/22・PTA進路講演会・3年進路説明会7/4に実施した。 ②中学校、塾の学校説明会に参加、学区全体の学校説明会にも参加した。 ③ユニティ前期講座3名受講し合格した。後期講座7名受講している。	3.7
学力向上と進路実現(1)	授業力職員の資質の向上	8 職員研修会を通して職員の資質向上を図る	総務	①年間計画に基づいて各部(総務、教務、生指、進指、保健)の取組を職員会議で報告するとともに、焦点化した研修を実施する。	①計画通り実施した。	3.3
		9 公開授業・研究授業を実施することにより授業力を高める	教務 教科	①各教員が年1回の公開授業実施を目標に教務部を中心となって計画を立て、全教員に案内をするとともに、教科を超えて他の教員の授業の見学を促す。 ②若手教員による研究授業(年3回)を実施するとともに、授業後の合評会において協議を行う。	②研究授業 ・1学期6月に教育実習生の指導に伴う公開授業や講評会(地歴・理科・保体・芸術・英語)を実施した。 ・11月に公開授業週間(国語・地歴・数学・理科・英語)および全体講評会(11/22)を実施した。 ③情報科 新学習指導要領を見据えて、3年選択科目においてプログラミング教育を実施した。	3.3
	全ての生徒の学力向上	10 授業形態を工夫し全ての生徒の学力向上を図る	教務	①少人数・習熟度別指導等の効果的な指導体制を工夫するとともに、成果の検証方法について検討する。	①数学科 1年「数学Ⅰ」(3単位):2クラス3展開、2年「数学Ⅱ」(4単位):3クラス4展開、習熟度別編成にて実施。 発展クラス・基礎クラス、それぞれ生徒に合わせた授業形態がとれ、成果が上がっている。 ②英語科 2年「英語表現Ⅱ」:少人数指導。 生徒1人1人への対応が丁寧でき、生徒の理解も深まっている。	3.5
		11 成績不振者に対するきめ細やかな指導を行う	教務 学年	①学期ごとに該当者に面談、補充を実施し指導を行う。	①学期成績不振者に対して、補充授業(7/22~8/30、12/25~12/27)を実施した。 夏季休業中・冬季休業中に特別課題を指示した。 ・1年 必要に応じて随時面談、家庭連絡を行った。補充も実施した。 ・2年 必要に応じて随時面談、家庭連絡を行った。成績不振者に対して補充や課題による指導を行った。 ・3年 必要に応じて面談・家庭連絡の実施、補充・課題による指導を行った。	3.7

	年度努力目標	取り組み内容	担当	具体策、スケジュール等	取り組み結果報告	4段階評価
学力向上と進路実現(2)	進路指導の充実	12 進路指導部と学年が連携して入試説明会を実施する	進路	①進学希望者数の多い大学から講師を招き、生徒対象の入試説明会を実施する。	①入試説明会(甲南大6/18、関西大6/19、関西学院大6/21)を実施した。 ②3年生対象に「進路通信」を12回発行した。 ③2年生及び保護者に大学入試改革の変更について、適宜文書で知らせた。	3.5
		13 進路指導部と学年が連携して進路検討会を実施する	進路	①推薦入試・一般入試について、適切な時期に進路希望に関する生徒個別の検討会を行う。	①指定校推薦検討会9/10、国公立大推薦検討会9/20に実施した。 ②一般入試出願検討会12/12、国公立二次出願検討会1/24を実施した。	3.6
		14 進路指導部と学年が連携して補習を計画し実施する	進路 学年	①長期休業中、特別時間割等適切な時期に生徒の希望者を対象とした補習を行う。	①夏季補習7/22~30、8/19~27に実施した。 ・1年 長期休業中だけでなく、普段の放課後に、希望者に補習を行った。 ・2年 夏季休業中に実施した。冬季休業中は課題を課した。 ・3年 夏季休業中には前期後期に分けて各教科補習を実施した。	3.4
		15 問題解決的な学習の充実を図る	教科 進路	①理数系・語学系の各種コンテスト・大会へ積極的な参加を行う。	①・第14回数学理科甲子園2019に2年生理系8が参加した(12/21)。 チームワークも良く、参加61校中23位と健闘した。 ・国語科：総合的な学習(和歌の探求)：第22回「あなたを想う恋の歌」に3年生文芸系23名が応募した。	3.7
	教育課程の充実	16 生徒の進路実現に対応した教育課程を編成する	教務	①大学入試の動向等を踏まえて、多様な進路に柔軟に対応できる教育課程を編成する。 ②新教育課程を見据えた教育課程編成を行う。	・教育課程委員会7回(5/11、6/17、7/12、9/16、10/14、11/11、2/3)実施した。 ・平成29、30年度入学生徒の2年次以降の教育課程を見直し、学校設定科目を新設。	3.5
創造的な校風の樹立(豊かな人間性の涵養)	特色ある芸術活動の推進	17 芸術科目・学校設定科目を開講して充実した教育活動を展開する	教務 芸術科	①特別非常勤講師を招聘し、充実した授業を展開する。	①音楽：演奏法、アンサンブルについてのレッスンを実施(7月、12月、3月) 美術：春待祭(学習成果発表会)における映像作品および造形作品の指導(映像メディア：通年、美術Ⅱ・美術総合：12月、2月) 書道：大学講師による創作作品制作・書法技術指導8回実施(書道Ⅰ：1/26、1/30、2/2、2/6・書道Ⅱ：1/26、2/2) 家庭：聴覚障害者についての実習・講義4回(9/5、9/10、9/12、9/17)	3.3
		18 学校内外で生徒の芸術活動を発表する機会を充実する	生指 芸術科	①校内(文化祭、冬季祭)、校外(春待祭 会場：神戸芸術工科大学)において、成果の発表を行う。	・拓翔祭6/14・15、冬季祭12/17~20、春待祭1/12を実施した。	3.7
	規律ある態度の育成	19 基本的な生活習慣を定着させる	進路 生指 学年	①各学年が実施している生活実態調査の内容を整理・統一することにより、生活実態の経年変化を把握する資料とする。 ②朝の校門指導を行い昨年度より遅刻者を減らす。 ③挨拶の励行、端正な服装、規律ある行動等、基本的な生活習慣を定着させる。	①生活実態調査(各学年4月)を実施した。 ②登校指導：生徒昇降口での登校指導(毎日)を行っている。 ③学年団と共同で実施している。 ・1年 遅刻指導、頭髮指導等規則を遵守する意識を持たせた。 ・2年 登校時や学年集会などで集団行動やルールを守る意識付けを行った。 ・3年 登校時や学年集会などで集団行動やルールを守る意識付けを行った。	3.3
		20 美化意識を育成して清掃活動を徹底する	総務	①毎日の校内清掃活動を徹底する。 ②校外清掃による美化活動を1年生全員で年1回実施する。	①日常だけでなく行事の前後も徹底して実施している。 ②計画通り実施した。	3.2
		21 生命を尊重する心や他者を思いやる心を育む	人権 心の教育 いじめ 対策	①いじめを許さない人権意識を啓発する。 ②事例検討会による職員の人権意識を向上させる。 ③いじめの基本方針に基づいて学校としていじめの対応を行う。	①アンケート調査を実施し、人権意識の啓発を行った。 ②カウンセリングマイナード職員研修会を実施した。(6/18、11/29) ③いじめ対策委員会を開催し、いじめのない学校づくりに努力した。	3.4
		22 ふるさと貢献事業を通して地域との連携を図る	総務 芸術科	①春待祭やクリーンアップ体験を実施する。	①「春待祭」(芸術科、文化部の発表)を実施した。(1/12) 1年 クリーン作戦として、近隣の清掃を行った。(10/10)	3.5
	体験活動の充実	23 就業体験事業を通してキャリア教育を推進する	進路 インスパ イア	①近隣大学から各分野の講師を招き出前講座を実施し、生徒の学習意欲を高める。 ②望ましい職業観を育むために、各分野の専門家を招いて講演を実施し意見交換を行う。 ③望ましい職業観を育むために、生徒対象の就業体験事業への参加を促進する。	①1年生全員に赤ちゃん先生プロジェクト(9/19)を実施した。図書委員会を中心に和綴じ本講座(12/17)を実施した。 ②看護系、医療系学校の専門家に、それぞれ講習をお願いした。(23名参加) ③ふれあい看護体験参加者10名、福祉体験(ワークキャンプ)参加者のべ3名、ふれあい育児体験参加者4名。	3.7
	図書館利用の促進	24 読書への興味・関心を高め、読書習慣を身につけさせる	図書	①図書館利用イベントを実施し、図書貸し出し数の増加を図る。 ②図書委員会の活動を活性化し、図書だよりを定期的に発行する。 ③授業における図書館利用を推進する。	①1年入学当初に具体的な利用方法についてオリエンテーションを実施した。 貸出数 約1400冊 図書館利用者数 約5000人(～1月)ともに昨年度より増加。 ②図書委員会 ・拓翔祭で古本市、平成のベストセラー本展示を行った。 ・「和綴じ本づくり」の研修会を行った。講師：県立図書館司書3名 ・掲示物などを作成し、館内のレイアウトを考えた。 ・ビブリオバトル大会を行い、優勝者は県大会へ。兵庫県大会でも優勝した。 ・図書館だよりを毎月発行した。 ・先生方にインタビューを行い、図書館だよりに掲載した。 ③保健保育、国語などの授業で利用。	3.8
	保健健康教育の推進	25 きめ細やかな保健・健康指導を行う	保健	①保健だよりを定期的(月1回)に発行する。 ②適宜、健康相談を実施する。 ③生徒のニーズに応じて計画を立てカウンセリングを実施するとともに、保護者、教員の教育相談を支援する。	①保健だより発行 毎月1回発行した。 ②必要に応じて生徒や保護者に対して実施した。学校医による健康相談を実施した。 ③キャンパスカウンセリング年間25回、「カウンセリングマイナード実践研修」2回実施した。	3.3